

1 生活科学研究所紀要 投稿規程

- 1) 本紀要への投稿原稿は、「論文」、「研究ノート」に区分される。

「論文」とは、生活科学及びその関連領域における理論・実証的・実践的研究に関するものとする。

「研究ノート」とは、「論文」には適さないが、それに準じるものとする。

いずれも編集委員会が適切と認めたものを掲載する。

編集委員会は「論文」「研究ノート」の掲載に際して最低限必要な形式を確認し、場合によっては修正を求めることがある。

- 2) 投稿者は原則として本学専任の教員（助手を含む）および研究所客員研究員・準研究員とし、ひとり一編（筆頭著者の場合）とする。共同執筆者のうち筆頭著者でない者は、もう一編まで掲載可能とする。本学以外の者の投稿及び、本学の大学院生の投稿に関しては、本学専任教員との共同執筆においてのみ認める。
- 3) 投稿論文は他誌に未発表のものに限る。
- 4) 採否および掲載順は編集委員会が判断する。
- 5) 原稿は論文執筆・投稿要領に従い作成し、論文は原則として刷り上り 10 ページ以内、研究ノートは 5 ページ以内（図・表を含む）とする。なお、引用文献及び注の記載は規程ページ数に含まない。
- 6) 執筆者には別刷を 30 部贈呈する。それ以上を希望する者には有料で頒布する。
- 7) 投稿期日は、締切りを 11 月 30 日（休日の場合は前日）必着とする。

2 論文執筆・投稿要領

- 1) 投稿原稿は和文、あるいは英文とする。
- 2) 投稿する原稿の構成は、表紙、本文、表、図、引用文献の順とする。
- 3) 表紙には、和英両文の題目、執筆者名、ローマ字の著者名、執筆者の所属、要旨、キーワード(5 語以内)を記す。

要旨は日本語で 400 字程度、もしくは英語で 200 語程度とする。

- 4) 本文には、ワープロソフト(Microsoft Word または一太郎)を用い、A4 版で横書 43 字 × 40 行で作成する。

英文の場合は、1 ページを 860words と換算する。ただし、1 ページ目には、30 行目より本文を記載すること。

- 5) 表は 1 ページに一つの表を書き、本文の原稿とは別に本文の後ろに一括する。番号は、表 1 のように表の上部に記載する。

図は 1 ページにつき一つの図を描き、本文や表とは別に、表の後ろに一括する。番号は 図 1 のように図の下部に記載する。

写真や挿絵等も図の扱いとし番号とタイトルを下部に記載する。

図表について本文で言及し、挿入希望位置を本文の右側に 図 1 、表 1 のように指定する。

- 6) 図表については、A4 半ページの場合は 800 字換算とし、4 分の 1 ページの場合は 500 字換算とする。

- 7) 引用文献および注(註)は、本文末尾に一括して掲載する。

著者名、年(西暦)、表題名、雑誌名、巻、号(単行本の場合は出版社、その所在地)、および掲載ページを記す。

<記載例>

文教 太郎(2017) 表題名, 雑誌名, 30, 82-105.

- 8) 英文タイトルの表記は、すべての単語の1文字目を大文字にする。ただし、接続詞(例 and, or, but)、前置詞(例 on, of, by, from, with, without, under)、冠詞(the, a, an)等は文頭でなければ上記の例外とする。

<記載例>

Exploring Positive Youth Development Among Young People Who Leave School without Graduating High School: A Focus on Social and Emotional Competencies.

- 9) 日本語を母語とする執筆者が和文以外で論文を投稿する場合は、本文、及び図表を含めてすべての原稿について使用言語の専門家による校閲を行ったうえで提出すること。また、その校閲完了の証明書を論文と共に提出すること。

- 10) 原稿は論文投稿システムを用いて、オンラインでデータ(MS Word 形式)を提出すること。

なお修正稿については同システムへの入稿とメール添付での提出を併用して行う場合がある。

- 11) 校正受け渡しは国内に限る。海外出張等を予定されている場合は、出発前に校正を完了すること。

執筆者校正は原則2校までとする(印刷所からの直送となる)。

校正の期日を厳守すること。遅れが著しい場合は掲載を取り消すことがある。

2023年1月25日改訂.

